

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5 年 2 月 21 日

事業所名 サービスセンターいとまち

保護者等数(児童数) 14 回収数 8 割合 57 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見と傾向	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	100.0%				(回答者全員が確保されていると答えていただいた。)	今後、放デイの部屋の利用も考えていきたい。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	75.0%		12.5%	12.5%	職員を増やし土曜日も対応してほしい。	土曜日も対応していることを伝えたい。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切に生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100.0%				(生活空間に対し全員が「はい」と答えてくれました。)	今後必要なもの以外の配置を避け、わかりやすい空間作りを心がけていきたい。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100.0%				(回答者全員が現在の状況に満足していただいた。)	その日の支援に応じて3つの部屋をやりくりして、広さの調整をしたい。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	100.0%				(回答者全員に理解していただいている。)	今後も保護者のニーズ等をしっかり把握し、対応したい。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内	87.5%			12.5%	(わからない方が1名いた。)	わからない方が出ないようにこれからも詳しい説明をしていきたい。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	87.5%			12.5%	(わからない方が1名いた。)	支援計画に書かれた内容と照らし合わせて説明したい。
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	100.0%				(活動プログラムには満足いただいている。)	これからも知恵を出し合い工夫していきたい。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	62.5%	12.5%			(どちらとも言えない方がいる。)	保育園等との交流はされていないが、見学等で様子は見るようにしている。
保護者への 説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100.0%				(回答者全員満足されている。)	
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がな	87.5%			12.5%	(わからない方が1名いた。)	この項目に使われている言葉が難しいしっかり説明をしておきたい。
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	75.0%			12.5%	(わからない方が1名いた。)	家族での対応は必要に応じて話している。ペアレントトレーニングに対する説明不足。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	100.0%				(全員の保護者から支援をいただいた。)	セッションの後の話し合いを今後も充実させたい。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	100.0%				(全員の保護者から支援をいただいた。)	セッションの後の話し合いを今後も充実させたい。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援さ	25.0%			62.5%	(わからない方が63%と多い。)	個別支援が中心であり、情報も個別に毎回伝えている。今後の課題
保護者への 説明等	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応さ	100.0%				(全員の保護者から支援をいただいた。)	些細なつづやきを拾うことを大切に、保護者との人間関係の構築に今後も力を注ぎたい。
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	87.5%			12.5%	(わからない方が1名いた。)	LINEやSNSを使った情報伝達も考えていきたい。
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	37.5%			62.5%	(わからない方63%と多い。)	保護者と毎回のセッションの後、十分に話し合っているのが安心していたが、情報の発信方法を考えてみたい。
	19 個人情報の取り扱いに十分注意されているか	75.0%		12.5%		(いいえが1名いた。)	大きな問題であり、個人情報に関する取り組みを伝えていきたい。
非常時等の 対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	87.5%			12.5%	(わからない方が1名いた。)	マニュアルは策定されているのだが、説明不足だったようだ。
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	50.0%		12.5%	25.0%	(わからない、といいえが3名いた。)	最初のセッションの前に避難経路を伝えるようにしたい。
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしているか	100.0%				(全員が楽しみにしている。)	このことを励みにさらに頑張りたい。
	23 事業所の支援に満足しているか	100.0%				(全員が満足している。)	このことを励みにさらに頑張りたい。

*1 この部屋で何をやるのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくする

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。